

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年2月6日(2020.2.6)

【公開番号】特開2019-88659(P2019-88659A)

【公開日】令和1年6月13日(2019.6.13)

【年通号数】公開・登録公報2019-022

【出願番号】特願2017-221066(P2017-221066)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 D

【手続補正書】

【提出日】令和1年12月23日(2019.12.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

特定の遊技が可能な遊技領域を備えた遊技機であって、

発光可能な発光体と、

遊技者が前記発光体に接触できないように設けられた保護手段と、を備え、

前記発光体は、所定位置に配置された第1発光体を含み、

前記保護手段には、第1視認部と第2視認部が形成され、

前記第1視認部は、前記第1発光体の光を遊技者が視認可能とされ、

前記第2視認部は、非点灯状態の前記第1発光体を視認可能とされ、

前記第2視認部は前記第1発光体の発光面に対向しない

遊技機。

【請求項2】

前記第1視認部は前記発光面に対向し、

前記第2視認部は前記第1発光体を含む複数の前記発光体を視認可能とされた請求項1に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明に係る遊技機は、特定の遊技が可能な遊技領域を備えた遊技機であって、発光可能な発光体と、遊技者が前記発光体に接触できないように設けられた保護手段と、を備え、前記発光体は、所定位置に配置された第1発光体を含み、前記保護手段には、第1視認部と第2視認部が形成され、前記第1視認部は、前記第1発光体の光を遊技者が視認可能とされ、前記第2視認部は、非点灯状態の前記第1発光体を視認可能とされ、前記第2視認部は前記第1発光体の発光面に対向しないようにされたものである。

これにより、発光体の不具合を発見しやすくメンテナンス性のよい遊技機を提供することができる。